



青 第 1 9 5 号

令和3年8月31日

埼玉県青少年健全育成審議会

会長 堀田 香織 様

埼玉県知事 大野 元裕 (公印省略)

青少年に優良な図書の推奨について (諮問)

埼玉県青少年健全育成条例第10条の規定により、青少年に優良な図書として別記の図書を推奨したいので、同条例第25条第1項第1号の規定により、貴審議会の意見を求めます。

令和3年度 埼玉県推奨候補図書一覧

諮問番号	部門別	書名	著者名等	発行所	価格(本体)	出版年月	ISBNコード
1630	乳幼児	ケロリンピック	大原悦子／文 古川裕子／絵	福音館書店	¥900	R2.3	978-4-8340-8548-8
1631	乳幼児	つばきレストラン	おおたぐろ まり／作	福音館書店	¥900	R3.1	978-4-8340-8587-7
1632	乳幼児	おくりもの	豊福まきこ／著	BL出版	¥1,300	R2.3	978-4-7764-0970-0
1633	乳幼児	こねこが にゃあ	ひろのたかこ／作	福音館書店	¥800	R2.1	978-4-8340-8525-9
1634	乳幼児	おたすけこびととおべんとう	なかがわちひろ／文 コヨセ・ジュンジ／絵	徳間書店	¥1,500	R2.5	978-4-1986-5099-5
1635	小学校低学年	かなへび	竹中踐／文 石森愛彦／絵	福音館書店	¥900	R2.4	978-4-8340-8545-7
1636	小学校低学年	りんご だんだん	小川忠博／写真と文	あすなる書房	¥1,300	R2.2	978-4-7515-2961-4
1637	小学校低学年	カールは なにを しているの？	デボラ・フリードマン／作 よしいかずみ／訳	BL出版	¥1,500	R2.8	978-4-7764-0973-1
1638	小学校低学年	かしこい うさぎの ローズパッド	ルドウィッヒ・ベームルマンズ／文・絵 小宮由／訳	大日本図書	¥1,400	R2.9	978-4-477-03364-8
1639	小学校低学年	おれ、ピートくいたい	マイケル・レックス／作 ひさやまたいち／訳	評論社	¥1,400	R2.4	978-4-566-08058-4
1640	小学校中学年	ねえさんの青いヒジャブ	イブティハージ・ムハンマド & S.K.アリ／文 ハテム・アリ／絵 野坂悦子／訳	BL出版	¥1,600	R2.3	978-4-7764-0963-2
1641	小学校中学年	とりかえっこ	泉啓子／作 東野さとる／絵	新日本出版社	¥1,500	R2.3	978-4-406-06430-9
1642	小学校中学年	オオハシ・キング ―ぼくのなまいきな鳥―	当原珠樹／作 とないちあき／絵	PHP研究所	¥1,400	R2.10	978-4-569-78952-1
1643	小学校中学年	ぼくの犬スーザン	ニコラ・デイビス／文 千葉茂樹／訳 垂石眞子／絵	あすなる書房	¥1,200	R2.10	978-4-7515-3031-3
1644	小学校中学年	チャーリー、こっちだよ	キャレン・レヴィス／文 チャールズ・サントソ／絵 いわじょうよしひと／訳	BL出版	¥1,700	R2.6	978-4-7764-0971-7
1645	小学校高学年	ジャンプして、雪をつかめ！	おおぎやなぎちか／作 くまおり純／絵	新日本出版社	¥1,500	R2.11	978-4-406-06479-8
1646	小学校高学年	嘘吹きネットワーク	久米絵美里／著	PHP研究所	¥1,400	R2.12	978-4-569-78964-4
1647	小学校高学年	雨女とホームラン	吉野万理子／著 嶽まいこ／絵	静山社	¥1,300	R2.5	978-4-86389-568-3
1648	小学校高学年	キャンドル	村上雅郁／作 遠田志帆／絵	フレーベル館	¥1,400	R2.12	978-4-577-04921-1
1649	小学校高学年	山をつくる ―東京チェンソーズの挑戦―	菅聖子／文	小峰書店	¥1,500	R2.12	978-4-338-08165-8
1650	中学校	秘密のノート	ジョー・コットリル／作 杉田七重／訳	小学館	¥1,500	R2.6	978-4-09-290634-1
1651	中学校	ハジメテヒラク	こまつあやこ／著	講談社	¥1,400	R2.8	978-4-06-520137-4
1652	中学校	ドーナツの歩道橋	升井純子／著	ポプラ社	¥1,400	R2.3	978-4-591-16602-4
1653	中学校	青春ノ帝国	石川宏千花／著	あすなる書房	¥1,400	R2.6	978-4-7515-2948-5
1654	中学校	サード・プレイス	ささきあり／作 酒井以／絵	フレーベル館	¥1,400	R2.9	978-4-577-04920-4
1655	高校・青年	ヨンケイ！	天沢夏月／著	ポプラ社	¥1,500	R3.1	978-4-591-16886-8
1656	高校・青年	サキの忘れ物	津村記久子／著	新潮社	¥1,400	R2.6	978-4-10-331982-5
1657	高校・青年	朝焼けにファンファーレ	織守きょうや／著	新潮社	¥1,600	R2.11	978-4-10-353711-3
1658	高校・青年	夜明けのすべて	瀬尾まいこ／著	水鈴社	¥1,500	R2.10	978-4-16-401001-3
1659	高校・青年	オン・ザ・カム・アップ いま、這いあがるとき	アンジー・トーマス／著 服部理佳／訳	岩崎書店	¥1,700	R2.12	978-4-265-86047-0

令和3年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準	推奨の有無
1630	ケロリンピック 福音館書店	「ケロリンピック」というカエル版オリンピックが開催され、カエルたちは優勝を目指して様々な競技で競い合う。	(1)エ (3)ア	
	大原悦子/文 古川裕子/絵	<b>選定理由</b> ところせましと描かれたカエルは多種多様で、じっくりと手元で見たくなる。また、リズム感がよく、思わず声に出して読みたくなるような文章であり、随所に散りばめられた「かえる」を使った単語が読み手を楽しくさせる。オリンピックをなぞらえたスポーツシーンは、登場人物がカエルということもあり、どこかユーモラスで、どんどんページを進めたくなる魅力がある。		
1631	つばきレストラン 福音館書店	満開になった椿に、甘い蜜を求めて様々なお客さんたちが訪れる。	(3)ア	
	おおたぐろまり/作	<b>選定理由</b> 花を咲かせた椿をレストランに見立て、鳥たちがお客となって訪れる様子が描かれている。作者の写実的かつ優しい雰囲気イラストが、ストーリーともよく合っている。また、鳥が花から蜜を飲む姿からは、生き物の生態に関する科学的な知識も学び取れる。		
1632	おくりもの BL出版	自分のとげとげしたハリが嫌いなハリネズミくんが、そのハリを活かして、冬眠する森の動物たちのためにマフラーを編むおはなし。	(1)ア (2)ア	
	豊福まきこ/著	<b>選定理由</b> 動物たちの柔らかな表情や背景の鮮やかな色合いに引き込まれる。はじめは嫌いだった自分の鋭いトゲが、使い方を工夫したり考え方を变えることで、誰かを幸せにできることに気がつく。短所が長所に変わっていくところが前向きで、明るい気持ちになれる。物語もお互いを思いやる優しさにあふれて安心して読むことができる。		
1633	こねこが にゃあ 福音館書店	お母さん猫が子猫を呼びました。すると、籠の中や袋の中から子猫が「にゃあ」。子猫たちがお母さんのところに集まってきます。	(1)エ (4)ア	
	ひろのたかこ/作	<b>選定理由</b> 猫の毛並みが細かく描かれた絵は、柔らかさとあたたかさが伝わってくる。お母さん猫の呼びかけに応じて、子猫たちがつぎつぎと顔を出す場面は、子供たちの興味を引くと思われる。お母さん猫が子猫を見守る様子は、愛情が感じられる。ボードブックと呼ばれる厚紙で乳児でもめくりやすい作りである。読み聞かせにも向いている。		
1634	おたすけこびととおべんとう 徳間書店	おたすけこびとたちは、遠足の日に子どもにお弁当を渡し忘れてしまったお父さんからお弁当を届けてほしいと仕事の依頼を受けます。おたすけこびとたちが、働く車や船を使って大活躍！	(1)エ	
	なかがわちひろ/文 コヨセ・ジュンジ/絵	<b>選定理由</b> お弁当を届けるおたすけこびと達をめぐる一日を紹介。子供たちが大好きなブルドーザーやショベルカーの他に船などが登場し、また細部まで描かれているため、子供の強い関心・興味をかきたてる。		

令和3年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校低学年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準	推奨の有無
1635	かなへび 福音館書店 竹中踐/文 石森愛彦/絵	朝一番に朝露を飲むことから、かなへびの生活は始まります。日なたぼっこをして体を温めてから、昼間はエサを探し、夜は葉っぱの上や落ち葉の下で眠ります。その生活ぶりは一見淡々としていますが、敵に襲われれば、尻尾を自ら切り離す技も持っています。しかも、その切れた尻尾の先は、しばらくの間くねくねと動いているのです……!かなへびの赤ちゃんは、卵から生まれるとすぐに一人立ちして、大人と同じように暮らし始めます。小さくて愛らしいかなへびが、自然の中でたくましく生き抜いていく姿が描かれています。	(1)イ (3)ア (3)エ	
		<b>選定理由</b> 色のコントラストがはっきりした絵で、かなへびの姿はもちろん、植物の葉まで一枚一枚読み取れる。「体を温めないこと」「獲物を捕らえる・自分が敵に狙われる様子」「交尾→卵を産み。生命がつながっていく様子」「冬眠の様子」…かなへびの100%が描かれている。子どもたちにとって、かなへびは大親友。今日もこの絵本をじっくり読んで、大親友のためのエサ(バッタやクモなど)を探しに出かけていく。この絵本も、子どもたちのかけがえのない友達になることだろう。		
1636	りんご だんだん あすなる書房 小川忠博/写真と文	おいしそうなりんごを、食べないで346日間ずっと観察し続けた写真絵本。食器棚に一年近くしまっておいたら、どうなるのでしょうか？変化する過程を紹介する写真記録絵本です。最後にはいったいどうなるのだろう？と次々にページをめくりたくなります。	(1)エ (3)ア (4)ア	
		<b>選定理由</b> 「つやつやりんごの長い旅」と帯にかいてあるので、木に実ったりんごがわたしたちの手元に届くまでの様子を表した本かと思いきや…?!リアルな写真で、生のりんごの変化346日間の様子を目にすることができる。「しなしなになってしまったりんご」を冷蔵庫の奥底で発見することがあるかもしれず…最後の写真には、驚きと衝撃が走るかもしれない。生物は文字通り「土に帰る」ということを教えてくれる。SDGsの観点から読み取っても面白い。		
1637	カールはなにをしているの？ BL出版 デボラ・フリードマン/作 よしいかずみ/訳	ミズのカールは、毎日毎日土を掘り「枯葉を食べては出す」を繰り返しています。ある日、カールは野ネズミに「なぜそんなことをしているのか？」と尋ねられますが自分でも答えがわかりません。その答えを探すために、旅に出ました。カールは、答えを見つけることができるのでしょうか？生き物の生態や、役割、命のつながりについても気づかされる、科学絵本でもあります。	(1)イ (1)エ (3) ア(3) エ	
		<b>選定理由</b> 「ミズのいる土は良い土だよ」なぜそうであるかを、カールの行動を追っていくことで、知ることができる。ミズの通り道のように文字が並んでいるのも、秀逸。生き物には、それぞれの役割があって、それぞれがつながっていること…やわらかなタッチの絵の中の動物を見て、それらに思いを馳せることもできる。この本の中に人間は出てこないが、私たち人間の役割とは…？考えさせられる。		
1638	かしこいうさぎのローズバッド 大日本図書 ルドウィッヒ・ベーム ルマンズ/文・絵 小宮由/訳	うさぎのローズバッドが読んだ本には「うさぎは、臆病ですぐ逃げる」と書かれてありました。他の動物たちのことはかっこよく書かれているのに、納得できません。腹を立てたローズバッドは、ある作戦を思いつきます。うさぎの力を見せつけるためにローズバッドが使ったいろいろな知恵とは…？オチも読後も楽しい本です。	(1)エ (2)ア	
		<b>選定理由</b> 本を一人で読めるようになってきた一、二年生にぜひ手渡したい「こころのほんばこシリーズ」の一冊。うさぎのローズバッドが「なんだと！とんでもない！」と腹を立てた気持ちから起こした行動が小気味よく、その機転とユーモア・最後のオチにもくすりとさせられる。		
1639	おれ、ピートくいたい 評論社 マイケル・レックス/作 ひさやまたいち/訳	ピートが一人で遊んでいると、モンスターがやってきました。ピートは遊び相手ができて大喜び！「自転車競走しよう！」「海賊ごっこしよう！」と大はりきりです。しかし、モンスターがやりたいことは、たった一つ！「ピートを食う！！」ことなのです…はたしてピートはどうなるのでしょうか？鮮やかな絵と共に、わくわく楽しめる絵本です。	(1)ア (1)エ	
		<b>選定理由</b> 少年ピートの思い・行動と、モンスターの思い・行動のちぐはぐさが、とてもユーモラスで、どのページも楽しめる。「食べる」ではなく、「食う！」という言葉使いも愉快。「こんなのよくないぞ！」モンスターを諭すピート。あたたかい気持ちがあふれる終末ページ。はっきりと表情豊かにモンスターが描かれており、読み聞かせにも適している。		

# 令和3年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校中学年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準	推奨の有無
1640	ねえさんの青いヒジャブ  BL出版  イブティハージ・ムハンマド & S.K.アリ/文 ハテム・アリ/絵 野坂悦子/訳	ヒジャブは、イスラム教を信仰する女性が、髪の毛を覆い隠すためのスカーフ。ヒジャブをつけて初めて学校に行く姉の姿を誇らしく思う妹のファイザー。しかし、ヒジャブをからかう声。様々に違う文化や価値観の中で、誇りをもってまっすぐに生きることの美しさを訴える本。	(1)ア (2)イ (3)ウ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> ヒジャブをつけて初めて学校へ行く姉の姿を、妹のファイザーは誇らしく、また心配をいだきながら見つけ、思いを語っている。人種や信仰の違いを尊重し、誇りをもってまっすぐ生きることのすばらしさが、美しい絵からも伝わってくる。		
1641	とりかえっこ  新日本出版社  泉 啓子/作 東野さとる/絵	スポーツも勉強も得意ではない4年生のみちる。優秀な姉とくらべられて、自分に自信がもてない。なかよしのすみれちゃんも「いいなあ、素敵なお姉ちゃん。」とうらやましがる。「とりかえっこしようか？」と、着ているものを交換して遊んでいると、カミナリが光り、2人の中身まで入れかわってしまう。友達や家族の温かさに気づいていくみちるの心の成長の様子を描いている。	(1)ウ (2)ア	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> 優秀な姉とくらべられて、自分に自信がもてないみちる。もやもやした気持ちの時に、友達のすみれと入れかわってしまう。友達のすみれや自分の家族のことを客観的に見つけ、その温かさ、大切さに気づいていくみちるの心の成長が読み手の心を引きつける。		
1642	オオハシ・キング ーぼくのなまいきな鳥ー  PHP研究所  当原珠樹/作 とないちあき/絵	小学4年生の拓真が主人公。拓真が「ほりだしの屋」で見つけた卵から生まれたのは、人と会話ができる不思議な鳥だった。「キンちゃん」と名付けて育てていくと、かわいかったキンちゃんはいろいろな言葉を覚え、言いたい放題。お互いのことを考え合う拓真とキンちゃんの交流に心温まる本。	(1)ア (2)ア (2)イ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> 拓真が「ほりだしの屋」で買った卵から孵った「キンちゃん」は、人間の言葉を話せる不思議な鳥だった。人間同士であっても、人間と鳥であっても、心から仲良くしていきたいと思えばいくらだってそうになれるという「ほりだしの屋」のおじさんの言葉によって、拓真とキンちゃんがお互いのことを考え、本当の家族になっていく心温まる本。		
1643	ぼくの犬スーザン  あすなる書房  ニコラ・デイビス/文 千葉 茂樹/訳 垂石 眞子/絵	主人公のジェイクは、いつも通りの生活が好き。部屋の配置もトーストの切り方も学校の時間割も。いつも通りでないと不安で心配で落ち着けない。そんなジェイクの心を変えたのは、1匹の犬だった。発達障害の特徴がある人の様子や、どんなふうにかを貸したらいいのかが自然とわかる本。	(1)ア (2)イ (3)エ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> 予定が変わったり、行事があつたりしていつもと違うことが苦手。まぶしい光がきらいで、高い音には耳をふさぎたくなる。でも好きなことなら、大人顔まけの知識をもち、素直で心やさしい。そんな発達障害の特徴をわかりやすく表現した本。読み手も主人公のジェイクの魅力に引きつけられ、応援したい気持ちでいっぱいになる。		
1644	チャーリー、こっただよ  BL出版  キャレン・レヴィス/文 チャールズ・サントソ/絵 いわじょうよしひと/訳	「だれでもぼくじょう」は、心や体に傷を負った動物たちが安心して暮らせる家。新しくやってきたウマのチャーリーは片方の目が見えず、上手く歩くことができなかった。いつも一人でいるジャックはチャーリーのことが気になるようになり、いつしかふたりに交流が生まれ……。実際に野生動物を保護する施設にすむヤギのジャックとウマのチャーリーをもとにした物語。	(1)ア (2)イ (3)エ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> ヤギのジャックは「だれでもぼくじょう」で出会ったウマのチャーリーを遠くから見ると、自分との共通点を見つけ、思いやる気持ちが芽生えていった。相手と違うからこそ大切に思ったり、すれ違ったりする姿は胸に迫り、動物保護施設での実話をもとにした物語でありながらも、友情や思いやりの気持ちは人間の心にも通じていて深く考えさせられる。		

# 令和3年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校高学年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準	推奨の有無
1645	ジャンプして、雪をつかめ！  新日本出版社  おおぎやなぎちか/作 くまおり純/絵	離婚した母と共に、母の郷里である雪国へと移住した少年が、それまでに経験したことのない雪国での暮らしを通して成長していくお話。都会と田舎との人間関係の違い、自らの家族内の問題等に悩みながらも、人と人との関わりの中でとまどいながら成長する主人公に共感しながら読める。ストーリー展開も面白く、高学年の小学生にはうってつけの本である。	(1)ウ (4)ア	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> <p>小学生ぐらいの年頃であれば、生活環境の変化は自分にとって大きな問題である。この本は、両親の離婚を契機に母の郷里である雪国へ移住した少年が、経験したことのない雪国の暮らしを通して成長していくお話である。都会との人間関係の違いや、家族内の問題に悩みつつ、人と人との関わりの中で学び、成長する姿に、きっと共感を覚えるだろう。ストーリー展開も面白く、高学年の小学生に、ぜひ手にとってほしい本である。</p>		
1646	嘘吹きネットワーク  PHP研究所  久米絵美里/著	クラスのSNS内の掲示板で様々な問題が勃発する。それを解決しようと奔走する理子だが、実は、一番最初に嘘の動画をあげてしまった張本人であった。ネット上の情報が正しいか、正しくないかがわかる「嘘吹き」の能力があると知っている錯に色々相談しながら、ネットへの情報発信について、ネットを介しての人間関係について考えていく物語。	(1)ア (2)イ (4)ア	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> <p>SNSでの普及に伴い、生徒たちの言語環境も大きく変化している。この物語を読むと、ネット社会の危うさや顔の見えない人間関係の空虚さに気づかせてくれる。言葉のもつ重みについても考えさせられる本。その一方で、興味をもって読み進められるストーリー展開であり、物語の登場人物にも感情移入できる。今を生きる子供たちにぜひ読んでもらいたい物語。</p>		
1647	雨女とホームラン  静山社  吉野万理子/著 嶽まいこ/絵	朝の占いを信じている野球少年タツ。同じく占い好きで心配性の里桜。占いは信じない現実的な野球少年和馬。空気を読んでしまう転校生の由樹。野球の試合の勝ち負けを、ジンクスにしばられてしまうタツと野球の試合を見に行ったら雨が降ってしまい雨女と思われてしまった由樹のことを軸にして、4人の学校生活が展開する。そこに、現実的な小山先生も絡み、楽しくもハラハラする物語である。	(1)ア (2)イ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> <p>日常生活の中で「誰かのせい」にしてしまえば楽に生きられる。結果が悪いときに自分の気持ちを楽しめるために人のせいにしてしまうことはよくあることではないか。しかし、そんな何気ない会話のせいで傷ついてしまう人や、人のせいにしないで努力をすることでどうなるのかといったことを本を通じて考えさせられる。今の子どもたちの日常にひそんでいそうな言葉のやり取りが心に残る。</p>		
1648	キャンドル  フレーベル館  村上雅郁/作 遠田志帆/絵	男の子だけれど女の子の格好をしたい小6の翔真とその親友蛍一のジェンダーレスの時代を生きる物語。夏のある日言ってしまった一言のために、二人の未来は違う道を歩みかけたかに思えるが、あきらめず勇気を出してそこに向き合えばやり直せる。元通りにはいかないけれど先へ進むことができる。そんなことを教えてくれる一冊。伏線で描かれる瑛と花の物語も含め、絆を考えさせられる。	(2)イ (3)エ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> <p>ジェンダーレスとは言われながらも、自分の気持ちをカミングアウトするのは難しい。しかし、翔真は周りからどう思われようと自分の気持ちを素直に表してきた。そこには、理解者である親友蛍一がいたから。絆で結ばれていたように思える二人だが何気ない一言がその絆をゆるがせてしまう事件が起こる。何とか修復しようともがく姿に感動がわきあがる。挫折から何とか先へ進もうとする姿を多くの子どもたちに読んでもらいたい。</p>		
1649	山をつくる —東京チェンソーズ の挑戦—  小峰書店  菅聖子/文	生活できる林業をめざす「東京チェンソーズ」の一年間の仕事を紹介しながら、なぜ、林業の仕事に就いたのか、どんな林業を目指しているのかを取材した本。読んでみると、林業の仕事に興味がわいてくる。小学生に林業の面白さ、山を守る事は日本の自然を守るなどを知ってもらうのにとってもよい面白い本。チェンソーズの活動を応援したくなる。	(1)ウ (2)イ (3)イ	
		<p style="text-align: center;"><b>選定理由</b></p> <p>色々な職業がある中、きつい、危険、汚い3Kがそろっている林業。でも、その仕事を楽しみ、仕事の可能性を広げていっている「東京チェンソーズ」の様子を紹介している。環境問題について考えさせられるし、東京チェンソーズの活動が地球の未来につながっているということも考えることができる。仕事を選ぶときに何を基準にするのか、お金だけではない何かが大切だということを、未来を担う子どもたちが考えるきっかけとなる一冊である。</p>		

# 令和3年度埼玉県諮問図書審査票

(中学校)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準	推奨の有無
1650	秘密のノート  小学館	クラスの人気者であるジェリー。先生や友人のものまねなどをしてクラスを楽しませることに秀でている。しかし、表面上明るくても、心の中では彼女なりの悩みがあり、それを「秘密のノート」に詩として書き綴っている。友人関係や家族との関係に様々な葛藤がある中で、少女の思いが鮮やかに描かれている。ノートを通して今の自分を開いていく前向きな姿に励まされる。自分を出すのは勇気のいることではあるが、大切なことだと理解できる。	(2)イ	
	ジョー・コットリル/作 杉田七重/訳	<b>選定理由</b> クラスの人気者でいつも陽気な主人公のジェリーだが、自分の容姿や友達関係、家族の問題、将来のことなど、誰にも打ち明けられない悩みを抱えていた。主人公が日記や詩に「書く」ことで苦しさを紛らわせ、問題解決の糸口としていたことから、この図書は認定基準(2)「生きる力を育む」のイ「人間としての在り方生き方を考えるきっかけとなるもの」にあてはまり、優良図書として選定するにふさわしいと考える。		
1651	ハジメテヒラク  講談社	綿野あみ(中1)がひよんなことから生け花部に入部することになり、個性的な部員とともに文化祭のイベントを成功させようと頑張る話で、アクシデントもあるが結局はハッピーエンド。マイナーな文化部の活動に焦点を当てているところや、自分の殻に閉じこもっていた子がみんなに認められるようになったり、自分も他の子の見えていなかったところに気づいたりというところが魅力的。主人公の脳内実況がぐいぐい展開を進めていくアイデアが強力。	(1)エ (2)ア	
	こまつあやこ/著	<b>選定理由</b> 友達とのトラブルが理由で癖になってしまった「脳内実況」が、人間関係を見つめ直すきっかけや問題解決の糸口にもなっており、主人公の成長が感じられる。【(2)ア】また、周囲の登場人物もユニークで、軽妙な文体と相まって楽しく読み進められる。【(1)エ】成長物語としてもエンターテインメントとしても独創的で、本を読む喜びを感じられる作品である。生け花を扱っているものの堅苦しくならず、自然と日本の文化の一端に親しむことができる。		
1652	ドーナツの歩道橋  ポプラ社	最近、特に話題となっている「ヤングケアラー」についての物語。祖母をケアする高校生が、同級生に実態を理解されずに思い悩む姿が描かれている。祖母の尊厳を守りつつも、自身を犠牲にしなければならない境遇に、現代社会が抱える課題を突きつけられる。在宅介護が主流になりつつある中で、介護福祉に関する一書として優れている。	(1)ア (1)イ (2)イ	
	升井純子/著	<b>選定理由</b> 昨今、「ヤングケアラー」について社会が注目している。これまで見過ごされてきた福祉の面であり、各種調査結果からも、一定数の該当者が存在することが明らかになっている。このことに焦点を当て、筆者の体験を背景としながら、少女の苦悩と希望が語られている。特に【(1)イ】「生命の大切さ」の心情や意識を高めるものに該当し、社会的な認知を広げ、関心を高める一書となっている。		
1653	青春ノ帝国  あすなる書房	坂の上の古ぼけた一軒家、不思議な塾に弟を迎えに行く主人公は自分が嫌い。自分のみっともなさやどうしていいかわからない年頃。でも、この塾に来ているときは、自分が特別な何かになれると感じる。そんな主人公が自分も人も認められるようになっていく姿を描く。登場人物がみんな悩んでいて、陰影が濃いところが魅力。イケメン転入生と仲良くなるあたりは都合がいいなあと思うが、それを覆しておつりがくるほどの心地よさがある。	(1)ア (2)イ	
	石川宏千花/著	<b>選定理由</b> 近年、希薄になりつつある”人との繋がり”を感じるができる。誰かのために、手を差し伸べる”感覚”は人との関係でしか築けない。だからこそ、人生に卑屈にならず、自分の居場所を探すことの大切さに気付ける。思春期で、自分は何者かと悩む中学生に1つの刺激を与えるものである。特に(2)イ「人間としての在り方生き方を考えるきっかけとなるもの」に該当する好適書と考えられる。		
1654	サード・プレイス  フレーベル館	思春期の不安定な心情ゆえに自分の居場所が分からない青年が、身近な施設の中で、様々な年齢層の仲間たちと集まって企画を立ちあげる。学業や友人関係、家族関係、自分の性格などに悩む青少年たちが大きな心の変化を迎える。大人との関わりや斜に構える姿勢も興味深い。一見、物語の浮き沈みを感じさせない展開であるが、その平穏さが妙に心に入ってくる。	(1)ウ (3)オ	
	ささきあり/作 酒井以/絵	<b>選定理由</b> 社会に対して斜に構えたり、反発心を持つことは青少年に見られる心の動きである。しかし、彼ら彼女らは様々な経験を通して社会や仲間の中での自分の居場所を見つけ、成長していくものである。【(1)ウ】に該当し、自分がコミュニティの中で、どのような役割を果たし、社会参加を果たしていくのかの序章を感じるこのできる一書となっている。		

令和3年度埼玉県諮問図書審査票

(高校・青年)

諮問番号	図書名等	内容・選定理由	認定基準	推奨の有無
1655	<p>ヨンケイ！</p> <p>ポプラ社</p> <p>天沢夏月/著</p>	<p>慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に、奇跡的に男子4人のスプリンターが揃った。インターハイ予選を目前に控え、100×4リレー(四継)に挑むことになるが、メンバーの人間関係はサイアク。はじめはリレーで重要なバトンの繋ぎもまったくうまくいかなかった4人だが、お互いが本音でぶつかり合ううちに、しだいにチームに変化が。読んでいて清々しく、集団の中で自己の特徴を自覚し、問題解決能力を育む作品である。</p>	<p>(2)ア</p> <p>(3)ア</p>	
		<p><b>選定理由</b></p> <p>走ることに真剣に向き合う中で仲間と挑戦する大切さに気づき、自身の大事にしていたものを再発見する。読んでいて清々しく、集団の中で自己の特徴を自覚し、問題解決能力を育む作品である。</p>		
1656	<p>サキの忘れ物</p> <p>新潮社</p> <p>津村記久子/著</p>	<p>ある日、千春はバイト先の喫茶店で客が忘れていった一冊の本を手にする。それは誰からもまともに取り合ってもらえなかった彼女がはじめて読み通した本となった。十年後、書店員となった彼女の前に現れたのは... (『サキの忘れ物』)。たやすく日々には宿る僥倖のような、まなざしあたたかな短編集。身近な話題に題材をとっているものが多く手軽に読める上に、ふとした瞬間に自分のことを振り返ることができる。新しい作風もあり、少し考えるところのある、読みやすい一冊。</p>	<p>(1)エ</p> <p>(2)ア</p> <p>(2)イ</p>	
		<p><b>選定理由</b></p> <p>多彩な表現に親しめ、身近な内容が掲載されている短篇集。自分のことを振り返ったり、考えたりすることができる。</p>		
1657	<p>朝焼けにファンファーレ</p> <p>新潮社</p> <p>織守きょうや/著</p>	<p>それぞれの想いを胸に秘め、法律のプロを目指す司法修習生たち。優秀だけどまだまだ成長中、そして個性強め。彼らと過ごすささやかな謎に彩られた日々が、教育にあたる大人も変えていく。それぞれの立場で司法や社会を見据えながら成長していく姿が期待させる。</p>	<p>(1)ア</p> <p>(2)イ</p>	
		<p><b>選定理由</b></p> <p>司法と関わり合いながら法律家の卵として成長していく姿から、倫理観や思考力が育まれる。</p>		
1658	<p>夜明けのすべて</p> <p>水鈴社</p> <p>瀬尾まいこ/著</p>	<p>職場の人たちの理解に助けられながらも、月に一度のPMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、やる気がないように見える、転職してきたばかりの山添君に当たってしまう。山添君は、パニック障害になり、生きがいも気力も失っていた。互いに友情も恋も感じていないけれど、おせっかいな者同士の二人は、自分の病気は治せなくても、相手を助けることはできるのではないかと思うようになる。社会参加の精神を養い、多様性を理解する心を育てる作品である。</p>	<p>(1)イ</p> <p>(1)ウ</p> <p>(3)エ</p>	
		<p><b>選定理由</b></p> <p>人とは違っていい、自分がどう感じ、社会とどう付き合っていくかが大事だということを考えさせる作品。多様性を身近に感じさせ、理解の一助となる。</p>		
1659	<p>オン・ザ・カム・アップ いま、這いあがるとき</p> <p>岩崎書店</p> <p>アンジー・トーマス/著 服部理佳/訳</p>	<p>亡き父と同じrapperとして売れることを夢見ている女子高生、プリ。成功は家族を苦しめる負の連鎖を断つためでもある。しかし突然受けた差別的な仕打ちが校内やネットで注目され、また自分の歌が思わぬ方向へと突き進んでしまう中、成功を目前にしたプリが取った行動とは...。いまだ解決を見ない人種差別問題を内在した青春小説。国際社会理解の一助となる。</p>	<p>(3)ウ</p> <p>(3)エ</p>	
		<p><b>選定理由</b></p> <p>日本社会で平時感じることのない世界が描かれている。自身の才能を輝かせることで人生を切り開きたいティーンエイジャーの黒人少女が主人公。登場する周囲の大人たちの思考を読み取り、国際感覚を養うことが、この作品理解には欠かせない。</p>		